

授業 科目名	画像診断学 Diagnostic Radiology	履修年次:	1 単位 15 時間	担当教員名:
		必修:理・作 2 年 選択:看 2 年 栄 2・3 年 歯 2・3・4 年	コード:BHB204	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅱ コミュニケーション能力、Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅵ 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
電子カルテの普及によって医師以外の医療職者も、医用画像を目にする機会が増えている。単純X線写真、断層X線写真、CTスキャン、MRI等の各種の画像と病態とが結びつくことで、疾患及び障害の現状、今後予測される機能的、能力的予後を考察できることが望まれる。画像診断機器の基本原則と画像診断の理論、ならびに、代表的な疾患・障害での画像のみかたを学ぶことにより、臨床実習において最小限の指導の下で、患者・対象者の病態を踏まえた合理的な評価・測定・予後予測・ケアプラン作成・介入等ができるようになることを目標とする。				
〔授業の概要〕				
単純X線撮影法、造影X線撮影法、画像診断機器（CT:Computed Tomography、MRI:Magnetic Resonance Imaging 等）の基本原則と画像診断の理論、医療被曝について学ぶ。各種疾患の画像所見を解剖学的に理解する。本授業は各領域専門医として実務経験のある教員により行われる。一部遠隔授業で実施する。				
キーワード: 解剖学、予後、評価				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第1回 (後半 45 分)	11/19	総論	画像検査法	金子 徹
第2回	11/26	画像解剖学・疾患各論 1	脊椎・脊髄	金子 徹
第3回	12/3	画像解剖学・疾患各論 2	四肢の外傷	金子 徹
第4回	12/10	画像解剖学・疾患各論 4	四肢の疾患	金子 徹
第5回	12/17	画像解剖学・疾患各論 5	胸部	太和田 暁之
第6回	1/7	画像解剖学・疾患各論 6	腹部	太和田 暁之
第7回	1/14	画像解剖学・疾患各論 7	脳血管疾患	山本 達也
第8回	1/21	画像解剖学・疾患各論 8	脳血管疾患以外の中枢神経系	山本 達也
履修条件		人体の構造（解剖学）と関連づけて学習すること。		
予習・復習		予習としてテキストを熟読のこと。		
テキスト		「PT・OTのための画像診断マニュアル」医学教育出版社		
参考書・参考資料等		「PT・OT 基礎から学ぶ画像の読み方」第3版 医歯薬出版 「画像診断コンパクトナビ」第4版 医学教育出版社		
学生に対する評価		定期試験（90%）、学習態度（10%）		

授業 科目名	保健医療福祉論Ⅰ (Social welfare and health policyⅠ)	履修年次:必修	1単位15時間	担当教員名: 佐藤真生子 〔社会福祉士〕 (非常勤講師室)
		全学科専攻2年	コード:BHB105	
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善、Ⅵ 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
本科目の目標は以下の4点である。				
① 社会保障の必要性、理念、役割、基本的枠組みを理解し、説明できる。				
② 社会福祉の基本概念、各分野の法や制度の概要を理解する。				
③ 対人援助職として必要となる援助視点のポイントを押さえる。				
④ 授業を通じ、福祉社会における、“一専門職としての私”の役割を具体的に考えることができる。				
〔授業の概要〕				
私たちは、常に様々なリスクと隣り合わせで生きている。中でも“貧困と疾病の悪循環”との闘いは、過去も現在も未来も世界共通の問題である。それゆえ、先人たちは知恵を絞って、様々な制度をつくってきた。その一つが社会保障や社会福祉である。				
本講では、まず、社会保障の歴史的背景、制度概要を学ぶ。次いで、社会保険、公的扶助、社会福祉各制度のポイントを押さえつつ、現在の課題についても学習を深めていく。その際、ゲストスピーカーの語り、関連動画なども取り入れる予定。※途中、シラバスの順序や内容の一部を変更する場合もある。				
キーワード: ナショナルミニマム、セーフティーネット、自立支援、当事者主体、地域共生				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/1	社会保障とは	社会保障5大ポイント（誰のため?何のため?何をやる?どんな役割?守備範囲は?）を学ぶ	
第2回	10/8	所得保障	所得保障対策（年金制度、生活保護制度、社会手当など）	
第3回	10/15	社会福祉とは	社会福祉の概要（基本となる法と制度、専門機関）	
第4回	10/22	障がい児・者の福祉①	ゲスト講話から、「地域で普通に暮らす」を考える （日程は変更の可能性あり）	
第5回	10/29	障がい児・者の福祉②	障がい概念 障がい児・者を支える法や制度の概要	
第6回	11/5	子ども家庭福祉①	子ども家庭福祉を支える法の概要 子どもの福祉問題（子どもの貧困）	
第7回	11/12	子ども家庭福祉②	子どもの福祉問題（児童虐待） 子育て支援対策の動向	
第8回	11/19	まとめ	専門職に求められる援助視点	
履修条件		特になし		
予習・復習		事前配布資料の読み込み、各授業内に示したキーワード、ポイントのまとめ		
テキスト		指定なし		
参考書・参考資料等		授業内で適宜紹介する		
学生に対する評価		授業リフレクション 50% レポート課題 50% （初回に詳細を説明する）		

授業 科目名	保健医療福祉論Ⅱ（応用） （Social welfare and health policy）	履修年次 2年	1単位 15時間	担当教員名： 田口円裕〔歯科医師〕 （歯科医療政策学・教授） （非常勤講師室）
		必修：看・栄・歯・作 選択：理	コード：BHB205	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 わが国における保健・医療・福祉の法体系と理念および諸施策・制度の基礎知識や基礎理論について学び、保健医療従事者として制度の意義と活用方法を理解する。Ⅱにおいては、社会保障のうち、特に保健・医療に関する施策の仕組み・制度の習得をテーマに、講義を進めていく。				
〔授業の概要〕 公衆衛生政策の理念および保健医療福祉行政に関連する制度について具体的に学ぶ。医療に関する施策の仕組み・制度については、医療提供体制や医療安全等について具体的に学ぶ。行政（厚生労働省）において医療政策を企画・立案した実務経験に基づき、医療政策と制度に関する学習支援を行う。				
キーワード:保健医療福祉行政、地域保健、医療提供体制、社会保障、医療安全				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	10/6	公衆衛生政策の理念と背景	・公衆衛生とは ・プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション ・わが国の公衆衛生政策の変遷	
第2回	10/20	保健医療福祉における行政の理念と仕組み	・厚生行政の仕組み ・地域保健の体系と関係機関の機能・役割（地域保健法、健康増進法、保健所、市町村保健センターの役割と機能、地域・職域連携の推進）	
第3回	10/27	公衆衛生行政の分野の制度と概要	・食品安全・衛生行政、生活衛生 ・医事薬事行政 ・環境保健行政	
第4回	11/10	医療制度Ⅰ	・医療保険制度、公費医療	
第5回	11/17	医療制度Ⅱ	・診療報酬制度、国民医療費	
第6回	12/1	医療提供体制	・医療提供施設と従事者 ・医療計画	
第7回	12/8	医療費の構造 医療安全	・医療費の構造 ・医療安全	
第8回	12/15	まとめ	まとめ	
履修条件		特になし		
予習・復習		授業でレジュメを配布するので、予習・復習に活用すること		
テキスト		国民衛生の動向		
参考書・参考資料等		授業時に適宜紹介する。プリントを適宜配布する		
学生に対する評価		試験（90%）と普段の学習態度（10%）による		

授業 科目名	食育論Ⅰ（基礎） Food educationⅠ (Basic)	履修年次: 選択:看3年、看編3・ 4年、栄3年、歯3年、 理3年、作3年	単位数: 1単位 15時間	担当教員名: 鈴木 亜夕帆 (A棟214研究室)
			コード: BHB106	
〔DP〕Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅵ 多職種との協働、Ⅶ 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
食育とは何かを理解すること、医療専門職が食育を考える意義を理解することを目的とする。				
テーマ:①食習慣の現状。②食と健康。③食の背景。④日本の食べ物（食品成分表）⑤日本人の食べる基準（食事摂取基準）				
〔授業の概要〕				
食育は、管理栄養士や栄養教諭だけでなく、看護師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士など医療関係者への期待も大きいのはどうしてか。食材や栄養の知識を伝えることだけが「食育」なのか。食育基本法等の施策、食の背景、食事と健康とのかかわり、食品成分表、食事摂取基準から理解し、専門職として、多職種と連携したライフステージ・ライフスタイルに応じた望ましい食習慣を理解し実践する食育を企画できる基礎を学習する。毎回、実践的食育（箸の持ち方、食事に関する各国のマナー等）の演習を行う。				
キーワード: 食育、食文化、食育計画、健康日本21、食品成分表、食事摂取基準				
〔授業計画〕 ※特別講師等のスケジュールにより実施回を変更することがあります				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	4/11	ガイダンス、食育とは	ガイダンス 食育と食育推進計画	
第2回	4/18	食習慣の現状	日本、千葉県の現状 実践的食育: お箸の持ち方	
第3回	4/25	食と健康のかかわり	健康日本21、健康ちば21 実践的食育: お箸のマナー、割りばしの割り方	
第4回	5/2	食の文化・社会背景	世界、日本、地域の食文化 実践的食育: 茶碗の持ち方、お碗の蓋の開け方	
第5回	5/9	食品と食育	食品の理解と食育への応用。【特別講師】	
第6回	5/16	日本人の食べ物	食べ物の物差し「食品成分表」の活用 実践的食育: せんべいとあられ、原料米の相違を理解する	
第7回	5/23	食べる基準	食事摂取基準の概要 実践的食育: 食事の場面で気を付けたいこと	
第8回	5/30	企画発表会・まとめ	企画した食育の発表会（共有） 専門職で食育を展開する方法を考えよう	
履修条件		特になし		
予習・復習		予習: 前週に指示。復習: 資料・ノート等の見直し。		
テキスト		研究室で作成したプリント。		
参考書・参考資料等		最新の「食育白書」農林水産省。「日本食品成分表2020 八訂」医歯薬出版。「日本人の食事摂取基準2020 年版」第一出版編集部、第一出版。「グー・パー食生活実践ガイドブック概要版」千葉県。等		
学生に対する評価		課題（50%）、学習態度（50%）により総合的に評価。		

授業 科目名	食育論Ⅱ（応用） Food education II (Advanced)	履修年次: 選択: 看3年、看編3・ 4年、栄3年、歯3年、 理3年、作3年	単位数: 1単位 15時間 コード: BHB205	担当教員名: 鈴木 亜夕帆 (A棟214研究室)
〔DP〕Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅴ 健康づくりの環境の整備・改善、Ⅵ 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 食育とは何かを理解した上で、専門性を生かした基本的な分かりやすい食育ができるようになることを目標とする。 テーマ: ①農水産物と食育。②栄養表示・おいしさ。③臨床と食育。④望ましい食事。⑤食育の実際。				
〔授業の概要〕 食育論Ⅰの内容を基礎として、食品分野、臨床分野からの食育、食の安全性、望ましい食事と食習慣、食事選択の方法など食に関する実践的な知識を学習し、専門性を生かしたライフステージ、ライフスタイルに応じた望ましい食習慣を理解し実践する食育教材を考えることができるようにする。実感的食育の演習を通して食育の実際を体感する。				
キーワード: 食育、食文化、教材、食育計画、健康日本21、食品成分表、食事摂取基準				
〔授業計画〕 ※特別講師等のスケジュールにより実施回を変更することがあります				
回数	日付	テーマ	内 容	
第1回	5/30	ガイダンス	ガイダンス	
第2回	6/6	食育と教材	食育教材を作るための留意点、食育教材の分析 実感的食育: 食育的な自己紹介をしてみよう	
第3回	6/13	世界と食育	国際的な視点で食育について考える【特別講師】	
第4回	6/20	望ましい食事	「グー・パー食生活」で望ましい食事を考えてみよう 実感的食育: 教材作成に役立つ資料	
第5回	6/27	医療者と食育	医療者から医療と食育の関連を学ぶ【特別講師】	
第6回	7/4	食品の安全・安心・おいしさ	栄養表示等をなどを題材に食の安心・安全を考える	
第7回	7/11	食育の実際	食育の教材を体験してみよう 実感的食育: 食育の方法について意見交換しよう	
第8回	7/18	教材発表・まとめ	教材発表会 教材の共有、食育の連携・協働を考える	
履修条件		特になし ※食育論Ⅰ（基礎）の内容を踏まえた内容となります。		
予習・復習		予習: 食育論Ⅰの内容の復習及び前週に提示。復習: 資料、ノート等の見直し。		
テキスト		研究室で作成したプリント。		
参考書・参考資料等		最新の「食育白書」農林水産省。 「日本食品成分表 2020 八訂」医歯薬出版。「日本人の食事摂取基準 2025 年版」第一出版編集部、第一出版。「グー・パー食生活実践ガイドブック概要版」千葉県。		
学生に対する評価		課題（50%）、学習態度（50%）により総合的に評価。		

授業 科目名	健康と運動 (Health and Physical Fitness)	履修年次	1 単位 15 時間	担当教員名: 成田 悠哉[作業療法士]、 坂崎 純太郎 [理学療法士] (研究室: 仁戸名研究室 3)
		1. 2. 3. 4 選択科目	コード: BHB107	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識 Ⅳ 健康づくりの実践 Ⅶ 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 保健医療に携わるものとして、障害の有無に関わらず、すべての健康状態にある人々の運動と健康との関係を理解する。健康づくりのための身体活動基準など、運動処方の理論を理解する。また、文化としてのスポーツを知る。到達目標は以下の通りである。 ① 運動処方の基礎原理を理解し、健康・体力を評価することができる。 ② 健康のために効果的な運動と日常生活活動を知り、健康増進を実践できる。 文化としてのスポーツを知り、観て実践して、スポーツを楽しむことができる				
〔授業の概要〕 講義形式にて、健康づくりのための身体活動基準などの運動施策を理解し、運動処方を理論的に学習する。また、体力測定・問診などの健康・体力・身体活動量を評価する方法を学び、科学的根拠に基づいたアセスメントおよびプランニングを行う。年代や疾病の特性に応じた日常生活での適切な身体活動量を確保する実践力を養う。実践および観戦によるスポーツの楽しみ方を知る。				
キーワード: 健康・体力づくり 運動処方 トレーニング理論				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担 当
第 1 回	10/3	ガイダンス	履修の準備、受講に関する注意事項 健康に関連する体力 運動の効用 など	成田 悠哉
第 2 回	10/10	健康に関連する体力	運動時の生理的变化と体力・身体活動の評価方法を理解する	成田 悠哉
第 3 回	10/17	運動処方	運動処方の原則と運動施策の根拠を理解する	坂崎 純太郎
第 4 回	10/24	トレーニング	最新のトレーニング理論とその変遷を知る	坂崎 純太郎
第 5 回	10/31	年代別運動処方	加齢に伴う体力の変化と、各年代別に必要な運動を理解する	坂崎 純太郎
第 6 回	11/7	疾病と運動処方	疾病・認知症への運動効果など、最近の知見を知る	成田 悠哉
第 7 回	11/14	スポーツの文化	文化としてのスポーツとその楽しみ方を知る	成田 悠哉
第 8 回	11/21	まとめ	まとめ (0.5 時間)	成田 悠哉
履修条件		健康スポーツ科学 あるいは 生涯身体運動科学とあわせて履修が望ましい		
予習・復習		興味があるものは、各自で予め調べておく。		
テキスト		なし		
参考書・参考資料等		必要に応じて資料を配布する		
学生に対する評価		試験 (40%)、日ごろの学習態度 (60%) により総合的に評価する。		

授業 科目名	家族社会学 (Family Sociology)	選択：看、歯、理、作1年	1単位 15 時間	担当教員名： 高尾 公矢 (非常勤講師室)
		栄 1.4 年	コード：BHB108	
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅴ 他職種との連携、Ⅶ 生涯にわたる探求心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
本授業では学生が家族の定義、構造と機能、変化を理解しながらわが国の家族の現在の特徴を理解することを目標とし、1) 学生が家族の定義と変化を理解することができる。2) 学生が家族の構造と機能を理解することができる。3) 学生が諸外国の家族と比較しながらわが国の家族の変化と現在の課題を理解することができる、などの能力の取得を目指して講義を進める。				
〔授業の概要〕				
本講義では講義形式により、家族と社会との関連、家族の変化についての一般的な考え方を説明する。ついで、個人がその生涯を通じて、家族集団の中で経験する過程の各段階(結婚、夫婦、親子、高齢者など)について、家族社会学的理解を深める。基礎的な概念や理論を理解しつつ、学生自身が資料・文献を通してわが国の家族の特質を諸外国の家族との比較を通して理解できるように指導する。				
キーワード：家族、現代家族、家族機能、ライフコース、ジェンダー				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	
第1回	5／29	家族の理解	家族の多様性、日本の家族の変化を理解する	
第2回	6／5	近代家族の成立	家族をめぐる社会状況の変化を理解する	
第3回	6／12	家族・貧困・福祉	どのような家族が貧困状態にあるのかを理解する	
第4回	6／19	結婚	結婚とは何か、未婚化、離婚における変化を理解する	
第5回	6／26	就業と家族	男女の格差、女性労働の二極化などを理解する	
第6回	7／3	妊娠・出産・子育て	性・生殖と家族、少子化と戦後日本の家族を理解する	
第7回	7／10	親—成人子関係のゆくえ	親—成人子関係はどのように変化したか理解する	
第8回	7／17	個人・家族・親密性のゆくえ	「親密性の変容」、多国籍化する家族を理解する	
履修条件		特になし		
予習・復習		予習としてテキストを熟読のこと。復習にはノートの見直しを推奨。		
テキスト		〔改訂版〕『問からはじめる家族社会学』有斐閣ストゥディア、2024		
参考書・参考資料等		指定しない。授業の中で適宜紹介する。		
学生に対する評価		レポート 60%、提出物 40%により総合的に評価する。		

授業 科目名	医療経営管理論 (Healthcare Management)	履修年次 選択	1 単位 15 時間	担当教員名： 科目責任者:住谷剛博 佐藤貴一郎 (非常勤講師室)
		全学科専攻 4 年	コード: BHB207	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム、Ⅱ コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
本授業では、これからの医療を取り巻く環境変化に対し、物事の本質を見極め、幅広い価値観と実践力向上が益々求められてきます。そこで、専門職としての使命や役割を理解し、職務遂行するための経営管理の基礎知識とスキルを修得し、現場の様々な課題に直面した際に自ら考え・行動できる資質の向上を目的としています。				
〔授業の概要〕				
本授業は講義形式により、医療人や施設が直面する制度変更や地域ニーズ、働き方改革など経営環境の変化に組織的に対応するための経営管理のありかたについて学習し考察する機会を提供します。講義では医療サービスと経営管理の本質を理解し、医療の質と経営の質を向上するために、従来の「病院管理」を超えて「組織論」、「経営戦略」などの視点を重視した経営管理のありかたと管理手法について実務経験にもとづき、実践的なマネジメント能力を高める内容とします。				
キーワード: 医療の質・サービス、経営の質、マネジメント、組織論、経営戦略、問題解決				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第 1 回	5/28	ガイダンス (45 分)	医療経営管理とは (受講に関する注意と成績評価)	佐藤貴一郎
第 2 回	6/4	医療サービスと質管理	医療サービスに必要な知見・特性と患者視点の質管理	住谷 剛博
第 3 回	6/11	経営の質と健全経営①	医療施設の資金の管理と会計、原価計算と資金調達	佐藤貴一郎
第 4 回	6/18	経営の質と健全経営②	医療組織における問題解決と人材・組織マネジメント	住谷 剛博
第 5 回	6/25	経営の質と健全経営③	診療報酬管理と I T 化による医療提供体制	住谷 剛博
第 6 回	7/2	医療組織管理	医療組織の特徴と組織類型、組織変革マネジメント	佐藤貴一郎
第 7 回	7/9	医療経営戦略と策定	経営戦略の基礎と医療経営戦略の策定手法	佐藤貴一郎
第 8 回	7/16	医療経営戦略と実践方法	地域医療連携の特性を活かした経営戦略と実行	住谷 剛博
履修条件		特にありませんので、専門領域を超えての履修を歓迎します		
予習・復習		予習として新聞等で医療の動向チェック、復習では配布資料の見直しを推奨		
テキスト		指定しない (講義資料を配布します)		
参考書・参考資料等		授業のなかで適宜紹介します		
学生に対する評価		学習態度 (60%) と課題レポート (40%) により総合的に評価します		

授業 科目名	医療経営管理論 (Healthcare Management)	履修年次 選択	1 単位 15 時間	担当教員名： 科目責任者：住谷剛博 佐藤貴一郎 (非常勤講師室)
		全学科専攻 4 年	コード：BHB207	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム、Ⅱ コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
本授業では、これからの医療を取り巻く環境変化に対し、物事の本質を見極め、幅広い価値観と実践力向上が益々求められてきます。そこで、専門職としての使命や役割を理解し、職務遂行するための経営管理の基礎知識とスキルを修得し、現場の様々な課題に直面した際に自ら考え・行動できる資質の向上を目的としています。				
〔授業の概要〕				
本授業は講義形式により、医療人や施設が直面する制度変更や地域ニーズ、働き方改革など経営環境の変化に組織的に対応するための経営管理のありかたについて学習し考察する機会を提供します。講義では医療サービスと経営管理の本質を理解し、医療の質と経営の質を向上するために、従来の「病院管理」を超えて「組織論」、「経営戦略」などの視点を重視した経営管理のありかたと管理手法について実務経験にもとづき、実践的なマネジメント能力を高める内容とします。				
キーワード：医療の質・サービス、経営の質、マネジメント、組織論、経営戦略、問題解決				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ィ マ	内 容	担当
第 1 回	10/6	ガイダンス (45 分)	医療経営管理とは (受講に関する注意と成績評価)	佐藤貴一郎
第 2 回	10/6	医療サービスと質管理	医療サービスに必要な知見・特性と患者視点の質管理	住谷 剛博
第 3 回	10/20	経営の質と健全経営①	医療施設の資金の管理と会計、原価計算と資金調達	佐藤貴一郎
第 4 回	10/27	経営の質と健全経営②	医療組織における問題解決と人材・組織マネジメント	住谷 剛博
第 5 回	10/27	経営の質と健全経営③	診療報酬管理と I T 化による医療提供体制	住谷 剛博
第 6 回	11/10	医療組織管理	医療組織の特徴と組織類型、組織変革マネジメント	佐藤貴一郎
第 7 回	11/10	医療経営戦略と策定	経営戦略の基礎と医療経営戦略の策定手法	佐藤貴一郎
第 8 回	11/17	医療経営戦略と実践方法	地域医療連携の特性を活かした経営戦略と実行	住谷 剛博
履修条件		特にありませんので、専門領域を超えての履修を歓迎します		
予習・復習		予習として新聞等で医療の動向チェック、復習では配布資料の見直しを推奨		
テキスト		指定しない (講義資料を配布します)		
参考書・参考資料等		授業のなかで適宜紹介します		
学生に対する評価		学習態度 (60%) と課題レポート (40%) により総合的に評価します		

授業科目名	リスクマネジメント論 (Medical Risk Management)	必修：看2・編入4 理2年 選択：栄2・4年、 歯2年、作4年	1 単位 15 時間 コード：BHB208	担当：西村宣子【看護師】 (図書館棟 8 号室) 山本達也【医師】・春日広美【看護師】・ 栞原涼子【歯科衛生士】・高橋静子【看護 師】
		実務経験のある教員による授業科目		

〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識 Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 人間の特性を理解し、事故発生のメカニズムと防止策の基本的な考え方を説明できる。				
2. 医療事故に伴う法的責任について知り、リスクマネジメントを学ぶ意義を説明できる。				
3. 病院組織、在宅ケア、神経疾患を持つ患者、口腔衛生管理における具体的な事故防止対策について理解できる。				
4. 危険予知、事故分析方法の演習を通して、リスクアセスメントに対する理解を深めることができる。				
〔授業の概要〕				
患者(対象者) 中心の安全・安心な医療を提供するために、医療安全の必要性・重要性を認識し、安全な医療が遂行出来る体制づくりや環境を整える活動が必要である。本授業は、将来、保健医療福祉の専門職者となる学生が主体的に対象者と自分の双方の『安全』をまもることができるよう、保健医療従事者の法的・倫理的責任、国の医療安全策の経緯および個人・チーム・組織としてのリスクマネジメントの具体的方法について理解できることを目的とする。また、病院組織、在宅看護、神経疾患をもつ患者、口腔衛生管理における医療安全対策について、事例を基に背景に存在する多様な要因から、組織的取り組みの重要性について学ぶ。さらに、危険予知、事故分析方法の演習を通して、リスクアセスメントに対する理解を深めていく。				
医師、看護師、歯科衛生士、GRM の実務経験に基づきオムニバス形式で講義を行う。				
〔授業計画〕 キーワード：リスクマネジメント、医療安全、ヒューマンエラー、インシデント、危険予知訓練、医療の質				
回 数	日 付	テーマ	内 容	担当
第1回 0.5	12/15・Ⅰ	医療安全とリスクマネジメントの 概念	ガイダンス リスクマネジメントとは ヒューマンエラーのメカニズムと人間の特性	西村 宣子
第2回	12/22・Ⅰ	医療のリスクマネジメントのプロセス	リスクマネジメントの有用性と具体的なリスク 分析の方法	高橋 静子
第3回	1/5・Ⅰ	医療機関におけるリスクマネジメント 1	病院組織における医療安全のしくみ 院内安全対策、感染防止対策 療養上の世話における事故防止	西村 宣子
第4回	1/19・Ⅰ	起こりやすいアクシデントとその対策 2	神経疾患における転倒予防とその対策 歯科診療・誤嚥に関するアクシデントと対策	山本 達也 栞原 涼子
第5回	1/26・Ⅰ	危険予知訓練（演習）	危険予知訓練（KYT） リスク低減の考え方	高橋 静子
第6回	1/28・Ⅰ	起こりやすいアクシデントとその対策 1	在宅ケアにおける安全対策	春日 広美
第7回	2/2・Ⅰ	医療機関におけるリスクマネジメント 2	医療機関におけるリスクマネジメントの実際	西村 宣子 (特別講師)
第8回	2/3・Ⅰ	リスクマネジメントと医療の質	医療安全と医療の質の関係 医療安全と法的・倫理的問題	西村 宣子

履修条件	特になし
予習・復習	予習：提示したテキストを読んでくる 復習：授業資料と授業範囲のテキストを見直す
テキスト	山内豊明ほか：医療安全（改訂第2版）多職種でつくる患者安全をめざして 看護学テキスト nice
参考書・参考資料等	松下由美子ほか：ナースング・グラフィカ EX 医療安全 第5版、メディカ出版 リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン 第2版
学生に対する評価	学習態度（20%）・課題（10%）・筆記試験（70%）により総合的に評価する。